

医療安全研修と活動

令和3年度医療安全研修

テーマ	研修名	開催月	対象者	参加者
第1回医療安全研修会	医療安全とヒューマンエラー (インターネット研修)	8月	全体	691名 (98.6%)
第2回医療安全研修会	苦情対応のポイント～寄り添う対応 で、苦情を予防する、こじらせない～ (インターネット研修)	2022 年 3月	全体	688名 (98.4%)
	医療クオリティー委員会活動報告会 (SMT 活動報告)	2022 年 2月	全体	—
医療安全教育	新採用者オリエンテーション	4月	新採用者	80名

医療安全活動

1) 院内巡視

令和3年度の院内巡視も、継続して救急カートの点検ラウンドを行いました。

また、救急カート点検表を改訂し、巡視結果はコメントを入力することで部署へ反映していきました。

救急カートラウンド: 救外

令和4年1月 項目	評価	備考
本欄または使用時に チェックしている	○	
確認後テープで封印 している	○	
封印テープに日付が 記載されている	○	
点検者が同一でない	○	
カート上段に不必要な 物が置かれていない	○	
管理者が月1回は確認し ている	○	
★重点項目★ ジャクソンリース 勝らむかのテストを しているか マスクが装着または 一掃になっているか	○	




使用頻度は一番多い
部署ですが、工夫して
整理されていました。

医療安全室

救急カートラウンド: 内視鏡

令和4年1月 項目	評価	備考
本欄または使用時に チェックしている	○	
確認後テープで封印 している	○	
封印テープに日付が 記載されている	○	
点検者が同一でない	○	
カート上段に不必要な 物が置かれていない	×	カップが置かれていました。
管理者が月1回は確認し ている	×	
★重点項目★ ジャクソンリース 勝らむかのテストを しているか マスクが装着または 一掃になっているか	○	




各引き出しの中は、すぐに
取り出しやすいように整理
されていました。

救急カートの上段は、
緊急時安全に使用する
ために、指定の者以外は
置かないようにしましょう。

医療安全室

2) 医療安全ニュース

「ANZEN」と題した医療安全に関するニュースを定期では毎月1回、電子カルテの掲示板に提示していません。また、職員の皆さんにお知らせしたい事例などが発生した時は、臨時号を随時作成して事例の紹介や、改善策の周知に努めています。

AN-ZEN ★★医療安全情報★★

2022. No.9

9月のTopics ～指差し呼称の効果～

1月の報告より、①注射・内服のダブルチェックをしても実施間違いがあった事例が散見しています。また、②検査中に日服指示でシリンジポンプから注入していた鎮静剤を OFF したところ、異位剤も OFF していた事例がありました。

あなたのチェックは大丈夫？

指差し呼称は脳を3倍以上使う

指差し呼称は、意識的に指を動かすことで、脳に刺激を与え、集中力を高め、ミスを防ぎます。

指差し呼称は、指を動かすことで、脳に刺激を与え、集中力を高め、ミスを防ぎます。

指差し呼称の効果

指差し呼称は、指を動かすことで、脳に刺激を与え、集中力を高め、ミスを防ぎます。

このインシデントレポートの掲載が目的ではありません。医療安全で学ぶ機会として、ご自身の現場でも活用していただくことを期待しています。AN-ZENに掲載される情報は、掲載の時点で最新の医療安全情報です。

AN-ZEN ★★医療安全情報★★

2021. No.7 11月

9月のTopics 「アラーム対応の遅れによるインシデント発生」

環境整備資料を活用して転倒・転落を防止しよう！

人間による環境の変化によって

離床CATCH設定フロー

【重要】離床時に合わせて手動アラーム設定のために看護記録システム上の資料を引き上げて下さい。

離床センサーの「スイッチを入れ忘れていませんか？」センサーアラームに「繰り返し鳴っていますか？」

離床センサーは危険予知！早期発見のために「設定確認」

離床センサーで、患者さんの行動パターンを把握していますか？

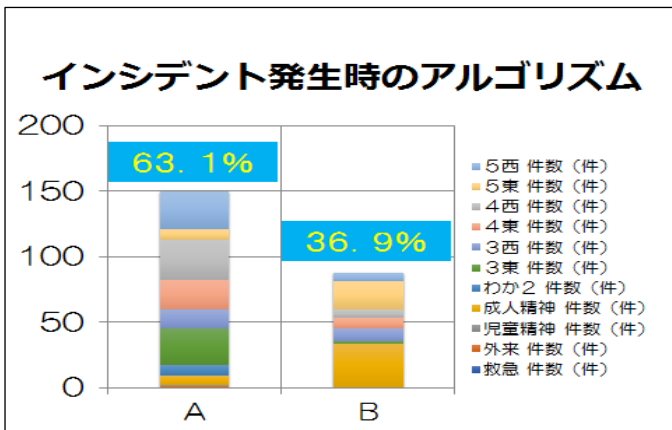
患者さんの行動を先読みして、「環境整備と共に安全も確認！」

3) 医療安全情報

日本医療機能評価機構より毎月1回、医療安全情報が届きます。こちらでも電子カルテの掲示板に掲示しますが、その際には当院での類似事例や対策も一緒に掲示するようにしています。

4) SMT (Safety Management Team) 活動

「転倒・転落チーム」による活動として、令和3年度は主にデータ分析、環境ラウンドの2点を行いました。メンバーは医師、看護師、放射線技師、薬剤師、介護福祉士など多職種にわたるメンバー構成となっています。環境ラウンドは各病棟における環境整備を定着させることを目標に、毎月1回チームメンバーが集まり、ラウンドを実施しました。年度末には医療クオリティー委員会の活動報告会で活動報告を行ないました。今後の転倒転落チームの活動としては引き続き転倒転落事故の発生件数や状況を評価することと、転倒・転落スコアシート導入後の使用状況評価を行う予定です。



指示が入るはずのアルゴリズムAの方が転倒事故の割合が多い！

環境ラウンド

2021年10月～2022年2月 計6回施行(3-5階東西)

目的

- ✓患者/家族の参加を促し、看護師(医療者)双方の転倒・転落防止への意識を高める。
- ✓環境整備ポイント表の活用状況を把握し、環境整備を定着させる。

具体的には

チェックシートを用いて

- ・ベッド周囲の環境設備ポイント
- ・離床CATCH設定フロー
- 等の使用状況などを調査

病棟	担当	実施日	実施時間	実施状況	実施結果
5西	山田	10/15	10:00-11:00	実施	問題あり
5東	佐藤	10/15	11:00-12:00	実施	問題あり
4西	鈴木	10/15	12:00-13:00	実施	問題あり
4東	田中	10/15	13:00-14:00	実施	問題あり
3西	山本	10/15	14:00-15:00	実施	問題あり
3東	佐藤	10/15	15:00-16:00	実施	問題あり
わか2	鈴木	10/15	16:00-17:00	実施	問題あり
成人精神	田中	10/15	17:00-18:00	実施	問題あり
児童精神	山本	10/15	18:00-19:00	実施	問題あり
外来	佐藤	10/15	19:00-20:00	実施	問題あり
救急	鈴木	10/15	20:00-21:00	実施	問題あり

環境ラウンドでの問題点

- ✓ほとんどの病棟が(ベッド周囲の環境設備ポイント・離床CATCH設定フロー)チェックシートを使っていない。。
- ✓そもそもチェックシートの存在、置いてある場所を知らない。。
- ✓環境ラウンドを知らない。。

いろいろな意味で啓蒙が必要！